

市は自治区ごとに開催している成人式について、開催時期や開催内容などの見直しを検討しています。これからの成人式がどうあればよいか、市民の皆さんから意見を募集しています。開催時期だけにとらわれず、さまざまな角度からの意見をお寄せください。

冬派 成人式 夏派

成人の日は「大人になったことを自覚し、自ら生きぬこう」とする青年を祝い励ます」という趣旨で、昭和23年に祝日として定められました。以降、成人の日に合わせ、成人式が行われるようになりました。

しかし「お盆の帰省時期に合わせて開催するほうが集まりやすい」「着物などにお金がかかる」「などを理由に開催時期の見直しが進みました。県内では昭和45年ごろから8月15日に開催する市町村が多くなり、平成16年度は夏に34市町村、冬に24市町村で実施されました。

現在は市町村合併が進み、再び開催時期が見直され始めており、本年度は夏21市町村、冬22市町村となっています。

江刺区で毎年新成人に対して行っているアンケート調査によると、最近5年間では夏開催を希望する人が多い結果となっていますが、女性に限ると冬開催の希望者が多くなっています。

合併協議に基づき自治区ごとに開催した本年度は、開催時刻が重なり市長が出席できないなどの課題が残りました。市は開催時期、会場、内容などを検討していますが、市民の皆さんのからも「成人式のあり方」について意見を募集しています。

また、市内高校の協力を得て、高校3年生とその保護者にアンケートを行います。ご協力をお願いします。

■意見送付先 市教育委員会生涯学習課（〒023-8501 水沢区大手町一丁目1番地、ファクス②41992、電子メール shougaku@ci ty. oshu. iwate. jp）

【表1】開催希望時期アンケート結果
江刺区(平成14～18年)

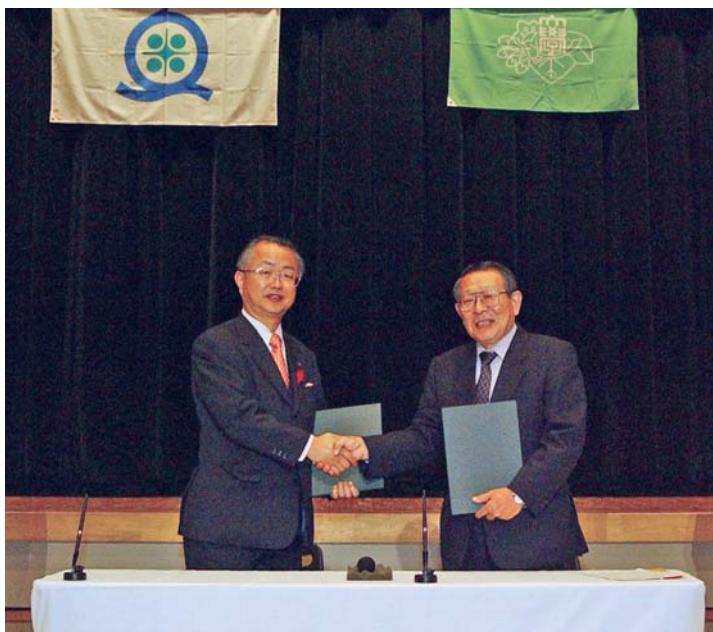
	男	女	計
夏希望	630人	363人	993人(56%)
冬希望	219人	424人	643人(34%)
どちらでも	76人	48人	124人(7%)

【表2】18年度県内市町村開催状況

開催時期	市町村名
夏開催 (8月15日)	八幡平市、花巻市(旧大迫・石鳥谷・東和)、奥州市(旧江刺・前沢・胆沢・衣川)、大船渡市、久慈市(旧山形)など21市町村
冬開催 (1月7日) 前後含む	盛岡市、遠野市、北上市、奥州市(旧水沢)、一関市、陸前高田市、釜石市、宮古市、久慈市(旧久慈)、二戸市など22市町村

※合併した市町村で合併前の市町村を単位として開催している場合も1市町村と数えた

岩大と市が友好協力協定を締結



固い握手で協力を誓い合う平山学長(右)と相原市長

岩手大学と本市の相互友好協力協定締結の調印式は11月19日、市文化会館(2ホール)中ホールで行われました。これは、岩手大学と本市が相互発展のため、学術・教育・文化の分野で援助協力していくことを目的としています。

調印式には、平山健一学長、斎藤徳美副学長ほか、相原正明市長ら関係者が出席。平山学長と相原市長が協定書に署名・押印し、協力を誓い合いました。

相原市長は「知識集積都市として、産業のみならず都市全体の発展につなげていきたい」と抱負を述べました。

旧水沢・江刺両市では既に同協定を結んでいましたが、合併により新たに結ばれたものです。

市の出来事から

大臣表彰

社会福祉に関する分野で長年社会に大きく貢献し、このほど表彰された2人、1団体を紹介します。

厚生労働大臣表彰



郷右近 昌子さん(62)
水沢区佐倉河字

昭和59年に水沢市婦人相談員。22年間にわたり女性の悩みの相談、解決に尽力。現在も活躍中

厚生労働大臣表彰



渡辺 弘さん(70)
胆沢区若柳字愛宕

昭和55年に胆沢町民生委員・児童委員。26年にわたり地域福祉向上に寄与。現在胆沢区民児協会長

厚生労働大臣表彰

愛宕地区民生児童委員協議会(菅野忠夫会長)

高齢者の健康維持、交流事業を積極的に展開。近年は児童の登下校の安全確保にも取り組む

大臣表彰

前沢診療所

菅原副所長が着任 木曜日の夕方診療開始

前沢診療所に、12月から新しい医師が着任しました。副所長の菅原陽一先生です。着任により内科医2人体制となり、診療体制が充実します。これまでの火曜日(午後4時半～7時)の夕方診療とともに、12月から週2回(火・木)の夕方診療を行っています。

※12月28日の夕診は休診となります。



前沢診療所副所長
まえさわ介護センター副所長
菅原 陽一先生(65)

「福島県の松枝岐診療所から来た菅原陽一です。専門は、消火器外科、内科、神経内科ですが、内科全般を幅広く診療します。胸や腹部の悪性腫瘍を主に担当してきました。特に、甲状腺や乳腺に不安をお持ちの方はお気軽にご相談ください」

愛用されて黒滝温泉100万人

衣川区の黒滝温泉で11月7日、平成2年12月開館以来の入館者が100万人に到達し、記念のセレモニーが行われました。

節目の入館者となったのは一関市の千葉セツ子さん(75)。相原市長から認定証と記念品が、南股へき地保育所の園児から区特産のリンドウの花束が贈られました。千葉さんは「ここのお湯は自分の体によく合うので月2回は利用しています」と笑顔で話していました。

黒滝温泉は、昨年度の入館者が9万人を記録するなど、近年人気が高まっています。



かわいい園児からの贈り物に思わずニッコリする千葉さん(中央)

水沢の小原さんが満100歳に



相原市長と談笑する小原さん

水沢区字北丑沢の小原フミさんが満100歳を迎えた12月1日、相原市長が小原さん宅を訪問し、長寿を祝いました。

フミさんは明治39年、金ヶ崎町生まれ。庭の手入れが趣味で、いつも庭中をきれいな花でいっぱいにしていたそうです。にんにくとバナナを欠かさず食べるのが元気の秘けつとか。

現在は長男の妻ハルさん(79)と2人暮らし。多少耳が遠くなっているものの、週3回のデイサービスで仲間との交流を楽しんでいます。